

爆弾情報：ファイザーのデータは、Covid 注射が生物兵器 であることを証明

政府は自分たちがジェノサイドを犯していることを知っている

<https://www.infowars.com/posts/bombshell-pfizer-foia-proves-covid-jabs-a-bioweapon-government-knows-theyre-committing-genocide/>

SonOfEnos | Rumble.com

February 2, 2022

⇒彼らがあなたに知ってほしくないことが、白日の下に隠されている。

【訳者】これは英語が比較的わかり易いので、特に専門の方々には、聞いていただくようお願いしたい。FOIA は「情報自由法」だが、ファイザーのデータの中に埋もれ隠れている情報ということだろう。そのように情報は、時間が経てばたつほど、明るみに出て豊富になり、正確になっていくのであって、何か月も前の知識や統計が、いつまでも、そのまま使えるわけではない。科学者たちは必死になって、正しい知識と観察データを追いかけている。そのことだけでも、政府が、決められた信仰のように「大規模ワクチン運動」を進めることに、誰もが疑問を抱くだろう。

実験的mRNA ワクチンの「有害効果」(adverse effects) が多種多様であることは、時間とともにますます明らかになってきたが、ここで中心になっているのは、いったんこのワクチンを受けると、遺伝情報が転写されて、体内に次々とウィルスをつくり出し、元の身体には戻らないということのようである。もしそうなら、それは保護を装った「生物兵器」と呼んで差し支えないものである。

今、「政府に騙されていた」という声が、世界のいたるところに起こっている。カナダから始まった「フリーダム・コンボイ」もそういう抗議である。事態がここに至るまでには、実は隠された長い歴史を必要としている。「カム・カム・エブリバディ」の歌が聞こえてきた、アメリカ「進駐軍」の時代から、彼らの方針は、我々日本人が再び立ち上がれないように「骨抜きにする」ことだった。そのため我々の私信が細かく検閲されたりした。日米合同政府によるワクチン運動は、こうした検閲や命令が決して過去のものでなく、70年以上経った今も、続いていることを示している。かつての進駐軍の「骨抜き」政策は、まさにこの言葉通りに今も生きている。

しかし今、あのころとは事情が変わり、彼らの悪意は剥き出しとなり、我々をも、アメリカの民衆をも超え、この人類そのものに向けられたものであることが、明かになってきた。この見方を嗤う人もいるだろう。しかし「グローバル・エリート」と言われるものがどういうものか、彼らの隠微で周到な長い歴史が、何であったかを知る人々は、了解するはずである。

ジョンズ・ホプキンスの教授が、メディアと自分自身の研究所を弾劾：

彼らは、ロックダウンが逆効果でしかないという調査結果を隠していた

<https://www.infowars.com/posts/video-johns-hopkins-prof-slams-media-own-institution-for-hiding-bombshell-study-that-found-lockdowns-are-ineffective/>

Steve Watson

February 3, 2022

⇒「ジョンズ・ホプキンス大学自体が、この研究について、プレス・リリースさえしていなかった。」

ある Johns Hopkins の教授が、彼自身の大学と体制メディアが、ある重要な研究について報告しなかったことを弾劾した。これは、ロックダウンが、COVID の死亡率を抑える効果を、ほとんど完全に持たないことを、結論として論証したものである。

我々が昨日、報告したように、この研究は、この大学の多数の著名な研究者によって書かれたもので、ロックダウンは「間違った根拠に基づいていて、パンデミック政策の手段としては拒否すべきものだ」と結論している。

<https://summit.news/2022/02/02/new-johns-hopkins-study-lockdowns-have-had-little-to-no-public-health-effects-and-imposed-enormous-economic-and-social-costs/>

著者たちは書いている：——「このメタ分析は、ロックダウンは公衆衛生上の効果をほとんど持たないと言っているが、実はそれらは、それが採用された場合には、膨大な経済的・社会的な犠牲を要求するものだ。」

水曜日、タッカー・カールソン・ショーに出演したジョンズ・ホプキンス外科教授 Martin Makary 博士は、この大学を告発し、「JK そのものが、この研究についてプレス・リリース

さえすることなく、もしメディアが報道すれば、それは今日、世界最大の物語の一つであるにもかかわらず、メディアのあるものは、それを取り上げようとさえしない」と言った。

マカリー博士は熱烈に、この研究を隠す理由は、ロックダウンの有効性については、「人々はすでに、彼ら自身の物語を書いているだろう」ということなのだ、と言った。

教授はこの研究を深く追究し、ロックダウンによって救われる命の数はごくわずかで、失敗した癌の診断や治療で失われる命だけに比べても、ロックダウンによる死者の方が多いことを発見した。・・・

上院議員 Rand Paul は、アンソニー・ファウチが、繰り返して、ロックダウンが数百万の命を救ったと主張していること注目している。

「それはあまりにも政治化されてしまったので、私はファウチ博士が、国に向かってそれを謝罪したり、間違いを認めたりはしないと思う。しかし我々は、彼のような人々を公職から退かせねばならない。彼らはあまりにも多くの政策で、誤りを犯しているからだ」と、ポールは言った。

・・・

記録文書：リークされた防衛総省データベースを見よ：

米軍の病気が、Covid 注射によって急上昇している

<https://www.infowars.com/posts/the-documents-see-the-leaked-dod-database-showing-us-military-illness-skyrocketing-from-covid-jab/>

Adan Salazar

February 1, 2022

⇒米防衛総省自身の、内部軍事データベースのスクリーンショットが、ワクチン接種後の流産や癌が、5年間の平均で、300パーセント上がったことを示す。

米軍自身の防衛疫病研究所データベース (DMED) が、DOD 自身の兵士たちの内部で、ワクチンによって起こった副反応を示しており、そこでは癌や流産などの症例が急上昇している。<https://www.health.mil/Military-Health-Topics/Combat-Support/Armed-Forces->

Health-Surveillance-Division/Data-Management-and-Technical-Support/Defense-Medical-Epidemiology-Database

このデータベースによる情報は、Thomas Renz 弁護士によって、あるパネル・ディスカッションで言及されており、これは先週、「Covid-19 : A Second Opinion」というタイトルで、上院議員 Ron Johnson (共、ウィスコンシン)によって主宰されたものである。

<https://banned.video/watch?id=61f08a740388fd1a8a6afca9>

このパネルのとき、レントツは3人の警告家を通じて、ワクチン接種後の流産と癌が、一年を通じて300パーセントも上昇し、神経による病気が、DODの職員の間で10倍にも増加したことを指摘した。

「私はこの3人から、このデータは偽証罪に問われる危険があると言われている。我々はこれを法廷に提出するつもりだ」と、レントツは上院議員ジョンソンに言った。・・・

軍の警告家グループ Terminal CWO の制作した、ビデオの内訳は、有害反応が、Covid 注射の奨励が始まった後に、増加し続けている事実を証明している。

ビデオのナレーターが説明しているように、DMED は、それが有害反応を記録している点で VAERS に似ているが、ただ違いは、それは DOD 職員だけに所属していて、「医療関係者だけが、情報をこのシステムに入力できる」ことである。

DMED から Terminal CWO に供給されるスクリーンショットは、急性の心臓発作の症例が269%増加したことを示している。

ビデオはまた、その他の病気の驚異的な増加を示しており、ベル麻痺やギラン-バレ症候群のような神経症の問題、月経の問題、自然発生中絶または流産の306%の増加、そしてネオプラズム（癌）の300%近い増加が、そこには含まれている。

・・・

[訳者 Greatchain 注]

これは、たまたまだが、ここにあげた3つの例は、いずれも、ちゃんとした関係省庁や研究所に、ワクチンによる諸々の有害効果の、データが出ているにもかかわらず、これを認めず、隠すか、無視するかするものである。こうしたことの他に、優秀で良心的な研究者や医者が、圧力によって沈黙させられたり、逆に、報酬を与えられてウソを宣伝する事例が、次々に報告されている。

こういうことは、ある程度知識のある人々なら、ほとんど気づいている。しかし中には、本当に騙されていたと告白し、その結果起こった激しい後遺症を、他者のために公開している知性ある人々もいる。最後にその例を紹介しておく：――

「ワクチンによってひどい障害を受けた 28 歳の女性が、悲劇的な、その後悔の物語を語る：〈私はこれが我々と、周囲の人々を保護してくれると信じていた〉」 <https://www.infowars.com/posts/28-year-old-woman-severely-injured-by-vax-shares-tragic-tale-of-vaccine-regret-i-believed-this-would-protect-us-and-the-people-around-us/>

⇒「私は、この出来事を話すことによって人々を救おうと思い、この物語を聞いてもらうことにした。」⁴

⇒「彼らは私に、これは私を保護するものだ、また他者を保護するものだ、そして我々を救うものと言った。」

・・・以下略